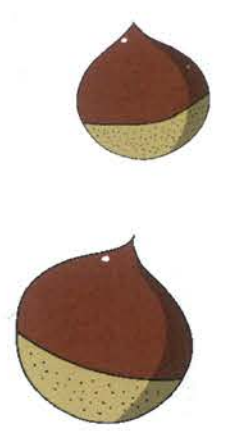


社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2016年
10月1日
第16号



スタッフ紹介



遠藤百合子 ユニトリリーダー
今回は、五丁目三番地の遠藤リーダーを紹介します。穏やかで頼れる遠藤リーダーは、とても話しやすい方なのですが、プライベートはあまりおっしゃらない方なのです。そんな遠藤リーダーの普段の生活を聴いていただきました。

★仕事の疲れをいやすのは？

家に帰ると、三匹のマルチーズが出迎えてくれます。とっても愛らしくて癒されます。

……三匹もいるんですね。さぞ、かわいい事でしょう！

★好きな食べ物と飲み物は？

私は食べることが大好きです。たまに家族で、ホテルビュッフェに行き、美味しい物を食べています。

★とっておきのリラックス方法は？

疲れたときは、孫に電話しておしゃべりします。元気を貰えます。それと、毎日アロマ入浴剤を入れたお風呂に入っています。

……えっ、お孫さんがいるんですか！たぶんみんなびっくりすると思います。夜勤もバリバリ行い、リーダー業務もこなすのに、本当にお元気で若いんですね！

★最近楽しかった思い出は？

犬の散歩、犬友達のおしゃべり。あと、温泉旅行も！長野に住んでいる娘のところに行き、いろんな温泉に入ってきました。

あと、とっておきなのが（笑）……

大好きな歌手のドームソロライブのチケットを、息子がプレゼントしてくれたんですよ！旦那さんと一緒に行ってきました。最高でした。

……♪チューチュートレーン♪のグループの人ですよ！楽しそっただなく。しかも、旦那様とデートだなんて。うらやましい！

三匹のわんちゃんに囲まれ、とっても優しい親孝行の娘さんと息子さんに恵まれ、旦那さんとデートも楽しんでいるなんて、本当に充実したプライベートですね！

これからも、どうぞよろしくお願ひします！



褥瘡委員会

褥瘡とは、布団やベッドなどに触れる部分の皮膚が、長い間圧迫され続ける事で、血流が不足し、皮膚や筋肉が壊死してしまう、恐ろしい疾患です。昔は「床ずれ」等とも呼ばれていました。

当委員会では、体重増減による栄養状態把握や、血液検査によるアルブミン値の動向に着目し、ハイリスク者をリストアップして褥瘡の予防・改善、快癒に努めています。目標は、褥瘡ゼロです！

医師や看護師、栄養管理士、機能訓練士、介護職員とのチームケアで、一日も早い快癒を目指します！

（佐藤委員長）

看護ルームより



現在桜園では、看護職員十一人体制で、ご入居者様の健康管理を担当しています。小さな気付きを大切に、早期の対応を心がけています。看護職員各々が、どの階も担当できるように、看護職員間の申し送りを密にしています。

ご家族様が気になる事がありませんら、近くにいる看護職員にお気軽に声を掛けて頂ければと思います。

これからも、他職種職員と協力して、ご入居者様の健康維持のお手伝いをしてまいります。

（看護副主任・田口 看護師）

敬老会

先月は敬老会がありました。この日のために職員が練習した踊りを披露したり、保育園の園児たちがお祝いに来て歌ってくれたり、にぎやかに開催することが出来ました。

また、恒例の避難訓練も行いました。最近日本のいたるところで起きる災害は、他人事ではありません。職員はもちろん、ご入居者様も、真剣に取り組んで下さいました。日頃の訓練の積み重ねが、もしもの時、きっと役立つはずです。

これからも桜園では、さまざまな災害に備え、準備をしていく所存です。



九月の倶楽部活動



十月は、木の実を取り入れた造花のフラワーアレンジメント、十一月は久しぶりに生花のフラワーアレンジメント、十二月は恒例のクリスマスツリーアレンジメントを予定しています。今後ともどうぞ、ご期待ください！

九月のフラワーアレンジメントは、緑の葉を多めに取り入れた、少し渋めの秋っぽいアレンジを作りました。手芸倶楽部では、もみじの壁飾りを制作。準備は大変なのですが、参加者の方々の笑顔を見ると、苦勞も吹き飛びます！

また、書道倶楽部もボランティアの方々の協力で無事開催されました。書道は根強い人気があり、参加者の方々は、毎回とても楽しみにされています。

相談員より

特別養護老人ホームを運営している社会福祉法人は、安心して暮らせる社会をめざし、地域のセーフティーネットの役割も果たしています。

葛飾区内でも、最近では精神障害やホームレス、又は生活保護を受給している高齢者など、これまでにない複雑で多面的な問題を抱えた高齢者が増えています。福祉サービスを受けるにあたって、民間の事業者からは敬遠されてしまうようなケースも、われわれ社会福祉法人が受け皿となっていく必要があると感じます。地域で暮らす人々のためにも、福祉施設の役割や意義などを発信していくことが重要です。

施設入所の相談だけでなく、日々の日常生活で気になる問題を抱えている高齢者の方がいれば、まずはお気軽にお話をいただければと思います。

(相談員・三背)

ユニットケアの視点

「今までの暮らしを施設でも継続出来る」事がユニットケアの重要なテーマですが、それを実現するためには根拠のある介護技術が必要です。

「ユニットケア」が制度化されたのは十年と少し前。少しずつ根付いてはきていますが、まだまだ新しい介護技法であることに変わりはありません。「東かなまち桜園」で働く職員にとってもそれは同じです。

当施設では毎月テーマを変え、園内研修を行っています。九月の研修テーマは「ユニットケアについて」でした。研修内容は「ユニットケアとは何なのか」という基本から、具体的な技法まで、しっかりおさらいをしました。職員はこのような研修を通して定期的に勉強しながら、日々のケアを行っています。

(介護主任・山田)

機能訓練指導員より



先月に引き続き、介護ロボットの話題です。先日、開発しているメーカーの方が桜園に来所し、移乗サポートロボットを試す機会がありました。介護ロボットの特徵、長所・短所を理解し、どのような状態の方に使用するか、適切に判断する必要があります。職員、ご入居者様共に、まずはロボットの使用に慣れることが必要です。

(機能訓練指導員・伊藤)

今月のご馳走！



敬老の日のご馳走は、お赤飯に海老の天ぷら！皆さんが大好きな茶わん蒸し、さつま芋の炊き合わせ、フレッシュなフルーツも。九月は他にもソースかつ丼・そぼろ丼・ちらし寿司・味噌ラーメン等どれも好評でした。

(管理栄養士・日下)

ケアマネ便り

今年も無事、敬老会がにぎやかに開催されました。桜園には現在、紀寿つまり百歳の方が一人、百一歳の方もおられます。お二人とも、ご自分でお食事され、トイレをお使いになる、とてもお元気な方々です。

ご高齢であっても、お元気に過ごされている方が多く住んでいるのも、桜園の自慢です。これからも、元気に過ごして頂けるようなケアプランを考えしていきます。(介護支援専門員・滝澤)

編集後記

毎号、ところどころにかわいいイラストを配置しておりますが、実はこれ桜園の職員が描いたイラストです。前職でイラストレーターをしていたので、さすが、上手ですよ。実は彼は水彩画やパステル画も得意としていて、色鉛筆で絵日記を描くの趣味としていて、ご入居者様と一緒に、描いたりしています。もし、興味があるご入居者様がいましたら、個別に相談にのりますので相談員までどうぞ。(平戸)

今月と来月のスケジュール

十月



- 10/7 (金) 書道倶楽部 14時 地域交流室
- 10/14 (金) フラワーアレンジメント 15時 地域交流室
- 10/21 (金) 手芸倶楽部 15時 地域交流室

十一月



- 11/11 (金) フラワーアレンジメント 15時 地域交流室
- 11/18 (金) 手芸倶楽部 15時 地域交流室